

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

第217号
発行日 2026年1月25日
発行者 JAMシニアクラブ
mail jam-senior@jam-union.jp

新年の「挨拶

JAM会長 安河内賢弘



お寄せいただき「郡山りょう」を更に大きく育てて頂きたいと思ひます。小さな声を一つ一つ集めることから変革が始まります。小さな声を大きな力に変えて、社会を支える原動力としましょう。

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。JAMシニアクラブ会員とご家族の皆様におかれましては、幸多き初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も宜しくお願い申し上げます。昨年、みなさまの力強い、そして温かいご支援によりJAMの悲願でありました「郡山りょう」参議院議員を誕生させることが出来たことを心より御礼申し上げます。

本年は皆様の暮らしや生活現場の声を郡山りょうに結び、JAMシニアクラブの会員とご家族の皆様にとって、2026年が健康で幸多き年となりますようにご祈念申し上げます、ご挨拶いたします。

新年の「挨拶

郡山りょう参議院議員



2026年の幕開けにあたり、JAMシニアクラブの皆様とともに新たな希望と挑戦に満ちた一年を迎えられることを、大変嬉しく思います。昨夏より、皆様の力強いご支援によって国政へと送り出していただき、使命を全うしご期待に応えるべく、日々精力的に活動させていただいております。

秋の臨時国会において、私は厚生労働委員会に所属し、「はたらく」現場

出身の当事者として、「現場の声」を国政の政策に反映すべく、あらゆる課題に、真摯に取り組んでおります。間もなくの国会において、政府は「労働時間規制緩和」や、40年ぶりと言われる「労働基準法」等の大改正にも着手しようとしており、結論ありきの論調先行の国会運営には予断を許しません。なんととしても「現場の声で『はたらく』を変える」という信念のもと、村田きょうこ参議院議員と共に、本年も全力で取り組んでまいります。

結びに、本年がJAMシニアクラブの皆様にとりまして、実り多き一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

新年の「挨拶

村田きょうこ参議院議員



JAMシニアクラブの皆さま、新年おめでとうございます。日頃より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆さまのお力添えのおかげで、参議院議員として4年目の節目を迎えることができました。これからものづくり産業の発展のため、また組合員やOBの皆様のご生活と暮らしを守るため郡山りょうさんとともに全力を尽くします。

昨年は、JAMの皆さまから寄せられた声をもとに、食事支給や通勤手当の非課税限度額の見直しが進められ、

（裏面に続く）

主張



本年も全国のJAMシニアクラブが連帯し、政策制度要求の実現に向けて、仲間の皆さんのご協力を賜りますようお願い申し上げます。さて、わが国の社会保障制度は、医療保険制度や公的年金

会長年頭の挨拶

JAMシニアクラブ会長 宮本礼一

制度などの国民皆保険制度が整った国として、世界から高く評価されてきました。しかし、昨年10月に誕生した自民と維新が連立与党となった高市政権は、高齢者が医療機関を受診した際の本人負担割合を引き上げることや、

介護サービスを受ける際の本人負担割合を引き上げるなど、高齢者福祉サービスを著しく劣化させるような政策を推し進めようとしています。

さらには、一人暮らし高齢者世帯の増加や、

第2次ベビーブームに産まれた世代の人たちの高齢化による国民全体の高齢化率の上昇などを見据えると、高齢者福祉サービスに係る負担と給付のバランスは今以上に悪化していくことが懸念されます。私たちJAMシニアクラブは、高齢期を迎えた世代の人たちが、様々なことにチャレンジしながら社会参加ができ、将来の世代も含む全ての国民の誰もが豊かで安心して暮らすことができることをめざし、郡山りょうJAM組織内参議院議員と連携し、全国の仲間と共に政策制度要求の実現に取り組んで参ります。

今後一層のご協力をお願いして、新年のご挨拶とさせていただきます。

へ表面より続く

し、通勤手当の非課税限度額については、昨年11月に引き上げが実現しました。

とはいえ、物価高で実質賃金が目減りする状況に歯止めをかけるまでには至ってはいません。今後も皆さまの生活に直結する切実な課題に丁寧に向き合ってまいります。

一方、ものづくり産業における価格転嫁は依然として十分とは言えません。継続的な賃上げの実現には、企業規模を問わず適正な価格転嫁が行われることが不可欠です。本法律が実効性のある運用となるよう、JAMの皆さまと力を合わせて取り組んでまいります。

結びに、JAMシニアクラブの皆さまのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ともに頑張りましょう！

新年のご挨拶

日本退職者連合

会長 野田那智子



新年あけましておめでとうございます。会員のみなさまには元気に新年を迎えられたことと思います。

日本退職者連合は、1991年11月20日に「日本高齢・退職者団体連合」として結成され、今年結成35周年を迎えます。

社会保障の充実、組織強化・拡大、ジェンダー平等推進に向けて、さらなる飛躍の年になるよう産別・関連退連、地方退連が一体となって邁進していくことを願っています。

高市政権は所信表明で防衛費の対GDP比2%の前倒し、安保関連三文書の改定などに言及しました。しかし「政治とカネ」の問題に一言も触れなかったことは極めて遺憾です。

安倍政権以降の「軍事偏重」「対米追従」路線の延長に屈することなく、私たちは平和国家を求めていきます。世界では核の脅しが横行しています。惨禍を繰り返さぬよう訴え続けるのは、私たちの使命であり、

「核なき世界」をめざし、連合とともに1000万署名の取り組みを進めていきます。すべての人が地域で生き活きと豊かに暮らせるために、会員のみなさまとともに頑張る年にしたいと考えています。

みなさまのご健勝、ご活躍を祈念して新年のあいさつとします。

兵庫 第23回総会を開催

切山義之 副会長



兵庫シニアクラブは11月21日、「こくみん共済COOP兵庫推進本部・大会議室」で第23回定期総会を開催、来賓18名、会員（役員12名を含め）19名、合わせて37名が参加しました。

総会議長には、幹事の山村高広氏（日本スピンドル）を選出し、来賓のJAMシニアクラブ宮本礼一会長、JAM山陽中庭隆博執行委員長、JAM山陽兵庫県連岩崎信二会長のあいさつの後、今回ご本人の出席は叶いませんでしたが、参議院議員郡山りょう氏のメッセージが紹介されました。

続いて議事に入り、2025年度活動報告・決算報告・監査報告、2026年度活動方針案・予算案など賛成多数で可決承認され、最後に任期満了に伴う20

26・27年度役員体制について確認して定期総会を終了しました。

ここ数年は会員数、定期総会の参加人数が、高齢化などに伴って減少してきており、さらに会員減少に追い打ちをかける企業の65歳までの定年延長、また70歳までの雇用確保など、歯止めをかける具体策が見当たらないのが現状です。

総会終了後、昼食懇親会が開かれ31名が参加、現役時代のエピソードなど、昔話に花が咲き皆さん楽しいひと時を過ごされました。

秋田 第23回総会を開催

12月19日、象潟「さんねむ温泉」において秋田シニアクラブ第23回総会を開催しました。

猪股代表幹事からの挨拶、来賓の大野本部シニア事務局長の挨拶のあと、議事に入り、2025年度の活動報告、会計報告、2026年度の活動方針、予算を満場一致で決定しました。

活動方針では、組織の整備・拡大、シニア共済の加入促進、交流会の実施、高退連・現役者との連携に力を入れていくこととしています。

総会のあとは楽しい忘年会。元TDK組合員の佐藤倉太郎さんの選曲とトランペット演奏によるカラオケ大会で盛り上がりました。

JAM秋田シニアクラブ第23回総会



披露されました。25年度の報告事項として奈良事務局長から一般活動報告、会計報告が行われ、君塚会計監査から会計監査報告が行われた承認されました。

続いて協議事項として26年度活動方針、JAM茨城高齢者・退職者の会の規約改正そして26年度会計予算が上程され、協議の結果了承されました。

総会終了後、懇親会が開催され、6月に開催された交流会後の半年振りの再会に盛り上がりました。

翌10日は朝食後、宮本会長はじめ一部会員はそのまま解散し、残り11名で車に分乗して関東最古の下妻市「大宝神社」に参拝し、健康・安全祈願。境内の菊まつりを鑑賞し昼食後、解散となりました。

茨城 第24回総会を開催

井上純一 副会長

茨城シニアクラブ第24回定期総会が11月9日茨城県下妻市の「ピアスパーク下妻」にて開催され、来賓・役員・会員合わせて16名の参加者で行われました。

総会議長にはIJTT（旧自動車鑄物）の本田代議員を選出し、冒頭茨城シニアクラブ山田会長の挨拶があり、引き続き来賓の本部JAMシニアクラブ宮本会長にご挨拶頂き、事務局から郡山りょう並びに村田きょうこ議員からの祝電が

